

		総務常任委員会	
平成22年3月10日受理		請 第 37 号	
件 名	八代・天草架橋建設に係る調査に関する請願		
紹 介 議 員			
中 村 博 生 山 口 ゆたか			
<p>(要 旨)</p> <p>国を挙げて観光立国への政府方針の中、県八代海域一体となって国際競争力の高い観光地域を形成するためにも、新幹線全線開業とリンクした交通アクセスの利便性向上は、天草地域や県南ばかりでなく、熊本や九州の発展のために必要なインフラ整備である。八代・天草架橋建設に関する地元の調査結果を受け、今一度、県と地元と共同での更なる調査の実施について請願する。</p> <p>(理 由)</p> <p>平成18・19年度にわたり民間、市町村、県共同での予算拠出による費用対効果等の調査結果は、予想以上の内容であったにもかかわらず、引き続きの調査継続がなされず残念な思いの中、県議会や市議会の促進期成会等が発足され、「県議会」「市議会」「行政」「民間」の5団体による架橋促進に弾みがつき、今後連携して一体的に早期実現に取り組む予定である。</p> <p>環有明海・環八代海地域を観光圏整備として魅力ある地域にするためにも、また、県内はもとより長崎、鹿児島、宮崎を周遊する国際的にも魅力ある観光圏構築となり、地域振興策としても十分な効果があると思われる。</p> <p>天草地域のほとんどが国立公園といわれながら、交通アクセスが悪く観光産業の衰退には目を覆うものがある。また、天草五橋開通から43年が過ぎ、老朽化の危機感が高まるなか、安全対策上からも架橋の早期実現が必要である。架橋建設に関する地元と共同による更なる調査の実施について請願する。</p>			